

加盟校・加盟員・関係者の皆さまへ

2022年8月14日

関東学生ゴルフ連盟

感染対策委員会リーダー 金井毅

秋季対抗戦における感染対策について、追加のお知らせとお願い

平素より本連盟の運営にご協力を賜り、誠にありがとうございます。

また本連盟の感染対策面で多大なご協力、ご対応を行なって頂き、心より感謝申し上げます。

さて、いよいよ秋季対抗戦が8月18日（男子DEF）より始まります。つきましては秋季対抗戦の感染対策において、急遽追加のお知らせとお願いがございますので、下記にお伝えさせていただきます。

はじめに・・・去る8月上旬に開催された、関東学生・女子学生本選において、

- 1、競技前、抗原検査での陽性反応並びに欠場者 →計17名
- 2、競技前、体調不良による欠場者からその後に陽性の報告 →計3名
- 3、競技中、競技場内で体調不良となり、抗原検査実施し、陽性が発覚 →計2名

と、かつてない多人数で感染がみとめられています。

こうした厳しい環境下、感染対策面での現場運営側の対応（濃厚接触者の追跡確認、対象者の体調確認、当該大学選手全員の抗原検査実施など）は、判断の時間軸がタイトな中、東奔西走し、かなりの混乱が生じました。 *熱中症で救急搬送も1名

また、夏合宿での複数校・複数名の感染者報告が、本連盟に届いており、新株の猛威、脅威が顕在している中、感染対策委員会では、下記の追加遵守事項をお知らせさせていただきます。

①ギャラリーの途中交代（入れ替え）をナシとさせていただきます

ギャラリー入場は認可（各校、最大1組2名×組数まで）とするが、**全ての男女ブロックでの途中でのギャラリー交代はナシとさせていただきます。** *指導者3名入場は従来通り

理由：競技中にギャラリーに陽性者が出た場合、 1, 当該大学の選手・関係者（ギャラリー含）に対し、追跡調査（濃厚接触の有無、体調確認など）と 2, 抗原検査をその日、一気に必要人数分を実施並びに判断せねばならず、 3, 医師の帯同がない実情、運営学生への過度な負荷 4, また、出場選手にも少なからず影響があることも鑑み、

従来通りの人数でギャラリー入場は認可するが、世情や本連盟の他競技での経験上、安全管理面を考慮し、途中の交代ナシとすることが賢明であり、現場混乱が軽減できると判断しました。

色々な角度のご意見（現在の感染状況ではギャラリー入場は不可とすべき・ギャラリーの途中交代をもっと認めて欲しいなど）を頂いており、賛否両論あると思いますが、感染対策委員会での熟考・検討 並びに**運営学生幹部の意見・要望を鑑み**、今年の秋季対抗戦は、上記スキームでのギャラリー入場とさせていただきます。 *下記の②も同様に、運営学生幹部の意見を吸い上げております

②競技中、選手が陽性発覚または熱中症による「試合中での追加選手の登録」について

競技中に選手が陽性となり、試合続行が可能な最低人員に満たなくなった場合のレスキュー策として、当該校、関係者全員対象の抗原検査が陰性で、濃厚接触でない者を、必要最低人数まで追加登録し、補充を認めることとします。（時期的に考えられる、熱中症でのリタイアもこれに含まれる）

*所定の「追加選手登録リスト」に選手名を記入し、大会本部にスタート1時間前までに提出すること

試合続行が可能な最低人員数→下記の人数に満たない場合、追加登録を許容します

男子Aブロック ➡8名（ダブルス2名×4組） ・男子Bブロック ➡8名（ダブルス2名×4組）

男子Cブロック ➡6名（ダブルス2名×3組） ・男子Dブロック ➡5名（5名のスコアカウント）

男子Eブロック ➡4名（4名のスコアカウント） ・男子Fブロック ➡3名（3名のスコアカウント）

女子ABブロック ➡4名（4名のスコアカウント） ・女子CDブロック ➡3名（3名のスコアカウント）

女子Eブロック ➡2名（2名のスコアカウント）

*なお、競技中に同一校内で複数の陽性者が発覚し、その総数が5名となった段階でクラスターと判断（厚生労働省見解参照）。安全管理面を考慮し、当該校はその時点でプレーは不可とします

また、対抗戦競技に際して、下記をお願いをさせていただきます。

1、各校で抗原検査キットをご用意（数に余裕をもって）して頂き、競技会場にご持参下さい

→チーム内で陽性者が発覚した場合、選手・関係者（指導者、ギャラリー）全員に抗原検査を行いません。*人数分（ギャラリー含）×日数分以上の抗原検査キットはご用意下さい

2、各校でポータブルの検温器をご持参下さい。

3、ギャラリーの中から必ず「ギャラリー責任者」を任命して下さい。

→朝のギャラリー入場チェックする際、ギャラリー責任者がギャラリー全員の検温と「体調管理チェックシート」を確認し、正常なら、ギャラリー責任者が「体調管理チェックシート」をギャラリー人数分まとめて、入場受付に持参・提出し、OKなら、そろって入場して頂く段取りと致します。（選手・指導者の方々は従来通りの入場形式となります）

*ギャラリー責任者は、体調管理チェックシートの右上余白に「ギャラリー責任者」と明記し、記入した携帯番号に、常に連絡が取れる状態をお願い致します。また、自校に陽性者が出た場合、運営委員のお手伝い、サポートをお願い致します。

以上です。

現在、首都圏（都内、隣県3県）の感染者数は依然として5~6万を超える規模で推移しており、本連盟にも、複数の加盟校から合宿中の「感染報告」が届いております。新株の感染力は凄まじく、これまでとは全く違った様相を呈し、感染対策面での難局が続いております。

また、コロナ感染症の5類への変更検討がなされていますが「今日の明日」のことではなく、実態は、感染者への対応を余儀なくされております。（今年限りとなることを我々も願っております）

何度も述べさせて頂いておりますが、競技2週間前のガイドラインに則った生活を励行して頂き、水際での感染を防ぐことが、第一段階の大切な感染対策となります。これを励行することで、我々が最も懸念する、競技場内での感染発覚を軽減できます。

どうか引き続き、各校責任者の方々中心に感染対策へのご協力を、宜しくお願い申し上げます。

末筆ですが、猛暑に負けず、健やかな日々をお過ごし下さい。日頃からの感染対策へのご協力を、重ねて御礼申し上げます。